



## 夢の実現に向けて

副校長 小澤 孝之

新しい年を迎えて、一か月が過ぎます。年明けの能登半島地震に関する報道に触れるたびに、被災された方々の今なお続くご苦勞に心を痛める毎日です。改めて、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、洋光台のまちを歩いていると、少しずつ梅の花が咲き始めています。本校の白梅も一輪、また一輪と小さな花を咲かせています。一歩ずつまた春が近づいているのを感じます。

先日、大橋ボクシングジムの大橋秀行氏の講演を聞く機会がありました。大橋秀行氏は横浜市の出身でボクシングの世界ミニマム級チャンピオンとなり、引退後はボクシングジムを経営されています。ご自身のこともさることながら、現在はスーパーバンタム級4団体統一王者の井上尚弥選手が所属するボクシングジムの会長として有名です。講演では、ご自身の学生時代から世界チャンピオンになるまで、そしてボクシングジムを経営して今日に至るまでのご苦勞を、ユーモアを交えながらお話いただきました。その最後に、夢を実現する方法についてのお話がありました。そのポイントとして大橋氏は3点を挙げられていました。1つ目が、親や家族に感謝すること、2つ目が周りの人を好きになること、3つ目が笑顔でいることだそうです。大橋氏の話の中で特に印象的だったのが2つ目の周りの人を好きになるということです。大橋氏は高校時代とプロに入ってすぐに痛い敗戦という挫折を味わい、これからどうすべきか考えたそうです。そこで自分を変えるためにこれまで好きになれなかった周りの人を好きになろうと決め、意識的に好きでいようと努力をされたそうです。その結果、それまでうまくいかなかったことが好転し始め、ついに夢であった世界王者になることができたということでした。

子どもたちには夢をもってほしいと思っています。実現するかどうかはそれぞれではありますが、夢という目標に向かって進んでいくひたむきな気持ちを持ち続けてほしいと思います。そのためにも感謝すること・好きになること・笑顔でいることを忘れずにいてほしいと思います。と同時に、子どもたちだけでなく、我々大人も子どもたちの手本となるような行動を心がけていなくては、と思いました。



MLBの大谷翔平選手からグローブが届きました。朝会で全校にお披露目し、その後、クラスごとに紹介しています。